

# データセンター要求仕様書

サービス提供を行うシステムは、日本データセンター協会が認定するデータセンターファシリティスタンダードにてティア3相当以上に認定されており、かつ、以下の要件を満たすデータセンター内に設置すること。

- 1 日本国内に立地し、24 時間 365 日の運用、利用を実現すること。
- 2 出入り口は、不特定多数の人が利用する場所を避けるとともに、入退室の管理を行うこと。
- 3 サービス提供を行うデータセンターは、このほか以下の基本要件を満たすものとする。

## (1)耐火及び耐震性能

- ① 総 SRC 構造(鉄骨・鉄筋コンクリート構造)であること。
- ② 耐震構造基準(震度 6 の地震が発生した場合、梁/柱/耐震壁/仕上材の損傷が軽微もしくはほとんどない建築構造)を確保していること。
- ③ 構造強度については、地震時外力、風圧などについて、建築基準法および施行令など具体的な規定に基づいて建築していること。

## (2)防火(防水、防雷)対策

- ① 基盤設備等への浸水防止対応をしていること。
- ② 防火設備及び消火設備について、サーバルーム内において、煙感知器を標準装備していること。また、ガス消火器等による消火システムを採用していること。
- ③ 消防法を遵守しており、消火栓、消火器、スプリンクラー設備、自動火災報知設備及び誘導灯の消防用設備を保持していること。
- ④ 建築基準法に基づき、避雷針機能を設置していること。

## (3)電源・空調設備

- ① 受電設備は冗長化されていること。
- ② 無停電電源装置を設置し、自家発電装置が起動するまでの間もサーバ機器等へ安定した電源供給を行い、障害時等における電源が確保されていること。
- ③ 電力供給の完全バックアップを無瞬断で実現していること。
- ④ 空調機は、24 時間 365 日連続運転を行っていること。

## (4)セキュリティ対策

- ① 有人(守衛など)によるビル入退室管理をしていること。
- ② 機器監視による物理的侵入対策を 24 時間 365 日実施していること。
- ③ ラックごとの個別施錠を実施している事。
- ④ システム機器及び通信設備の冗長化を実施していること。

## (5)冗長化性能

- ① サービスを提供するサーバは冗長化しており、サーバ本体の故障時にも、他のサーバにある環境に切り替え、継続運用する高可用性を確保すること。
- ② サーバ内部電源やネットワークインターフェース、ディスク等は冗長化しており、内部部品の故障時にも継続運用が可能な高可用性を確保すること。
- ③ ストレージは、プロセッサ、内部バス、電源、ディスク等を冗長化しており、内部部品の故障時にも継続運用が可能な高可用性を確保すること。